

第6学年 体育科 ボール運動ゴール型（パックサッカー）の 実践

本実践では、パックサッカーの学習において1人1台端末（メタモジクラスルーム）を活用し、チームごとの振り返りページを作成した。

授業内で動画を視聴すると時間がかかり運動量の確保が難しいため、プレー動画は宿題として視聴し、気付いたことや自分なりの課題を端末に記入する方法をとった。

子どもたちは、動画で見取った内容をもとに「上手くいったこと」「うまくいかなかったこと（修正したいこと）」「次にどうしたいか」を整理し、翌授業でチームごとに共有した。記入内容をもとに話し合うことで、チームとしての共通理解が生まれ、次のゲームに向けた役割分担や作戦が具体的にイメージできるようになった。

また、単元中盤にはFormsによる中間振り返りを行い、単元後半の学習に向けて自分の考えを整理する機会を設けた。

1人1台端末を継続的に活用したことで、振り返りと改善のサイクルが自然と生まれ、主体的に動きを高めようとする姿が多く見られた。

攻防を楽しもう！ 「パックサッカー」

この単元では
いかにして「シュートチャンスをつくるか/つくらせないか」について
頭と体をフル回転させながら、
パックサッカーのおもしろさを味わう学習をします。

そのために

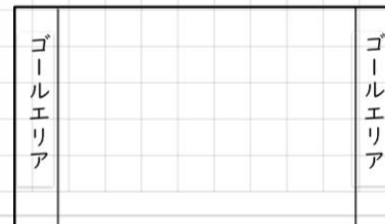
- ①学びのサイクルを回すこと（見通し・挑戦・ふり返りのサイクル）
- ②チームで協力すること
- ③みんなが楽しめること 大切です。

単元の終わりには

自分がどんなことができるようになったか、
どんな力がついたかについて、レポートをかきます。

パックサッカーのルール

- ①4対4のパスゲーム（ノードリブル）
- ②パックボールの使用
- ③タッチダウン制
（ゴールエリアにボールを蹴り入れ、味方がボールに触れると得点）
- ④ボールマン（ボールを持っている人）に対してノーアプローチ
（プレッシャーをかけてボールを奪うことはしない→パスカットを狙う）
- ⑤ボールがコート外に出たら、サイドラインから蹴り入れて再スタート



- ⑥自チームのゴールエリアには
出入り自由だが相手チームの
ゴールエリアには侵入できない



ゲームを撮影

攻防を楽しもう！「パックサッカー」

日付 (0 / 3 /)

問い どのようにしてシュートチャンスをつくるか、つくらせないか

1回目のゲームの動画

2回目のゲームの動画

上手くいっていること

上手くいっていること

上手くいっていないこと(修正したいこと)

上手くいっていないこと(修正したいこと)

次はどうしたい？

次はどうしたい？

攻防を楽しもう！「バックサッカー」

日付 (10/3/)

問い どのようにしてシュートチャンスをつくるか、つくらせないか

1回目のゲームの動画



2回目のゲームの動画



上手くいっていること

周りを見ていた。一回下げたりできている

パスを仲間に繋げれている

パスがうまくいった

上手くいっていないこと(修正したいこと)

反応が遅れている パス回し

声を出せていなかった。

マークをつけられている

次はどうしたい？ 味方のパスに反応する

素早く反応する

声出す

パスの加減

上手くいっていること

相手のパスコースを防ぐパス回しが上手かった

ゴールエリアを防ぐ。

相手のマークにつけている

上手くいっていないこと(修正したいこと)

パスするまでの時間がかかっている

マーク

仲間の近くに行けなかった。

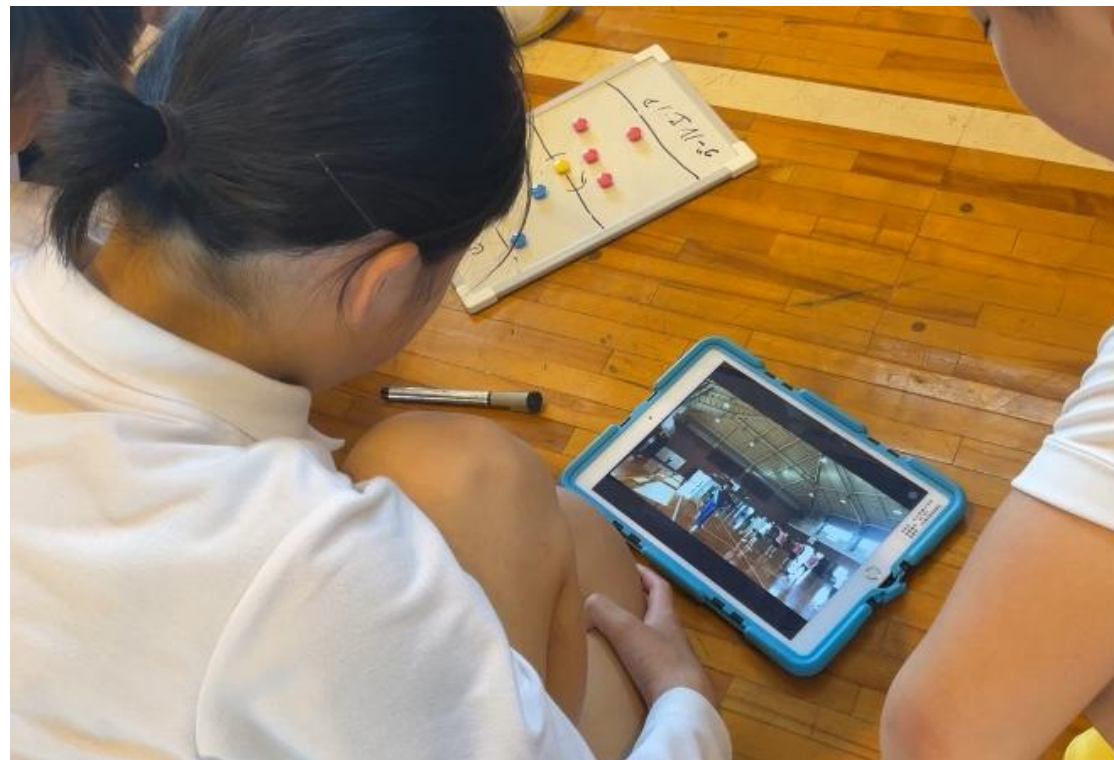
マークをつけられてパスを出すのに苦戦した

次はどうしたい？ 仲間を助けに行く。

パスするまでの時間を少なくする

マークをつけられる前にパスを出す

早くする



撮影動画を見ながら振り返りを記入

メタモジにFormsを貼り付けて

単元中盤のふり返し

→終盤に向けて思考を整理

4. パックサッカーは楽しいですか？（とても楽しい・・・5 まったく楽しくない・・・1）で☆の数を選んでください。*



5. シュートチャンスをつくるためには、どうすればいいですか？※攻撃（こうげき）の動きのポイントや上手くいった作戦など、できるだけくわしく教えてください。*

回答を入力してください

6. チャンスを作らせないためには、どうすればいいですか？※守備（しゅび）の動きのポイントや上手くいった作戦など、できるだけくわしく教えてください。*

回答を入力してください